



初のトラック周回コースを制したのは?

県内最大規模の駅伝競走大会「第65回郡市町対抗駅伝競走特別大会」が1月28日、宇都宮市のカンセキスタジアムとちぎで行われた。通常は県庁から栃木市の総合運動公園までの往復コースで襷をつなぐ大会だが、今年は初のトラック周回コースとなり、各区間の合計タイムで覇を争う大会となった。



前後半5区間ずつの計10区間(前半21km、後半21kmの合計42km)を5,000mと3,000mに分け、1区ごとにスタートを繰り返す方式となったため襷リレーとはならないが、トップと最後尾の差が開かないレースが展開された。結果は、前回総合優勝の那須塩原Aが2時間7分41秒で2年連続12度目の総合優勝、2位は宇都宮A、3位には足利Aが入った。

前半と後半の間に第16回栃木県小学生駅伝競走特別大会が行われ、5年生以上の男女クラブチームによる1,000mずつ5区間、計5,000mの合計タイムで争われた。こちらは「よろしく真岡」が9連覇を飾った。

救護車のない大会

当会は毎回救護協力させていただいているが、今回は救護員として倉持事業部長と事業部の吉澤賢二会員が参

加した。今年は周回コースのため、救護車で選手を追いかけながらの活動ではなく、競技場内の医務室で待機することになった。



今大会で医務室に訪れた負傷者は転倒による擦過傷が2人と疲労骨折の疑いのある選手が1人だった。

スタジアムAゲート前の当会ブースでは骨密度測定と健康相談を行い、高野学術部長をリーダーに、小森広報部長、事業部から舩山新一副部長と飯塚則臣・森田悦宜部員が参加した。スタジアム西側のブースは、日陰のうえに晴天ゆえの放射冷却の影響でとても寒く、訪問された方に、素足になってもらうことがためらわれるほどであった。



今回はブースの場所が通路ということもあり、来訪者がいつもより少ないと予想していたが、それでも88人の方を測定し、健康相談を受けていただいた。大会関係者や陸上経験者が多かったため、骨密度が80%を下回る方は数えるほどであった。当会のパンフレットを手渡す際には、「来年の大会で、またお会いできることを楽しみにしています」と付け加えておいた。

広報部

Innovative Academic Department Series 新 学術部シリーズ

付設診療所編

とちのきクリニックでの症例をご紹介します



【症例】

- * 67歳・女性
- * 負傷名：①右前腕骨近位橈骨頭粉碎骨折
②右上腕骨内顆・外顆骨折
- * 受傷日：令和5年8月6日
- * 初検日：令和5年8月18日
- * 負傷原因：自宅の階段で転倒し右手をついて右肘に体重が加わり負傷する。

【状況および経過】

受傷翌日に近所の整形外科を受診。シーネ固定の処置で経過観察となっていたが、受傷から約2週間経過したところで、セカンドオピニオンで当院を受診した。初検時、腫脹・皮下出血斑著明で限局性圧痛も認められた。肘関節の屈曲・伸展障害があったが、回内・回外での疼痛はなく運動障害もなかった。



当然、再検査の必要性があるため、提携している整形外科医に診察依頼したところ、手術適応と診断された。当初患者は手術を拒否していたが、家族にも説得され、栃木医療センターにおいて近位橈骨頭粉碎骨折による人工骨頭・人工靭帯置換術の手術となった。

9月4日に退院となり、術後の固定期間を終え同医療センターでリハビリを開始した。

10月13日から担当医師より後療依頼を受け、当院において後療を開始することとなった。

【とちのきクリニックによる診断と説明】

担当医師から後療依頼を受けたものの、X線写真の提

供はなかったため、10月15日にとちのきクリニックを受診し、飯島医師から以下のことに注意して施術するよう指導を受けた。

- ①術後1か月程度は自己に任せたりハビリ（自動運動）として屈伸動作、回内・回外動作を行い経過をみること。
- ②人工靭帯が2本入っているため、易脱臼状態にあるため、注意しながら軽度のリハビリをすること。また、術後の固定による手関節・手指（MP・DIP）の拘縮も認め、そのリハビリも必要となった。



さらに、異所性骨化も確認できたため、骨化を防ぐための施術も行っているが、異所性骨化が拘縮改善の妨げになるようであれば、骨化を溶かす内服薬を使用することもあるようだ。

半年以上のリハビリをしても肘の拘縮が強い場合は、関節内の骨を削り、人工靭帯を緩める再手術も検討する必要があるとのことである。

学術部 鈴木勝仁

保 険 部 だ よ り



新年度を迎えるにあたり、新たに柔整師を雇用あるいは勤務柔整師が退職する可能性があるかと思えます。

それに伴う手続きに係る届出書類などに関して、それぞれ提出する様式、届け出先も異なりますので、HP 柔整師のページに掲載の一覧表を参考に、対応が遅くならないように準備してください。実務経験期間証明書、明細書発行義務にも関与してきますので忘れずをお願いします。

不明な点は当会事務局までご連絡ください。

通則の大切さ痛切に

12月11日、栃木県庁研修館において関東信越厚生局および栃木県による集団指導が行われました。概ね1年以内に開設した柔整師や院主変更者などが対象となります。

国保連合会からは、療養費支給申請書の提出、施術録の基本的な書き方ならびに返戻とその取り下げ方などの説明がありました。また、関東信越厚生局からは、主に療養費制度の概要、受領委任および算定上の留意事項についての説明があり、特に私たちが扱う療養費の支給対象となる負傷(第1通則5)と支給対象外(第1通則6)に対しては注意を払うよう促されました。

以下に個別指導、監査について地方厚生局へ寄せられた事例をいくつか挙げておきます。

- ・医療費通知による施術日数が実際に施術を受けた日数と異なる。
- ・療養費支給申請書の殆どが3部位以上の負傷名による請求である。
- ・同月初検、同月治癒が画一的に行われている。
- ・数年前に施術を受けたことがあり、その後は施術を受けていないにもかかわらず、その施術所に係る医療費通知が来る。
- ・一部負担金が一律100円や300円といった定額で、領収書も発行されない。
- ・一部負担金の徴収を行っていない。

監査対象としては

- ・架空請求・付け増し請求・振替請求・保険対象外施術の請求・二重請求・無資格・名義貸しなど、調査の結果、請求内容に不正や不当があったものは受領委任の取扱いを中止され、原則中止後5年間は受領委任の取扱いができなくなります。また、悪質な場合、行政処分(免許取消、停止)、あるいは刑事告発の対象となります。

今一度、自らの施術録や申請書を見直すきっかけになった時間でもありました。

保険部長 鈴木忠夫

「ACTION! 防災・減災」プロジェクト

～命のために今うごく～

キャンペーン期間▶令和6年3月1日～31日



災害は、突然やってきます。ひとりでも多くの命を救うために、日本赤十字社は皆さまとともに、災害に備えるための活動、「ACTION! 防災・減災」をはじめています。

このプロジェクトは、東日本大災害が発生した3月を中心に、未来に目を向けた「防災・減災への備え」を働きかけ、日本全体で防災意識を高めるムーブメントを起こす取り組みです。

どうか今、あなた自身や家族、大切な人たちの命をどう守るのか、考えてみてください。

災害時にあなたの、そして大切な人たちの命を守るのは、今のあなたの行動です。

<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/>



令和4年度は本プロジェクトに連動し、全国の日赤支部でさまざまな活動が行われました。

3月11日、千葉県幕張の浜辺で100人超の参加者を前に、震災を振り返り、防災について日赤千葉県支部の職員が震災の教訓や備えの重要性を伝えると、「身が引き締まりました」「帰ってから家族と話合います」といった声が寄せられました。



3月19日、茨城新聞社と日赤茨城県支部の共同で「親子で体験! BOSAI キャンプ」が開催され、約600人が参加しました。心肺蘇生や炊き出し、テント設営、起震体験など多くのブースが設けられ、参加した親子は楽しみながら、自助・共助の防災意識を高める機会となりました。

投稿 俺に言わせろ！

※あくまでも私見であることをご了承ください。

「柔道整復を第二のセカンドオピニオンに」という「とちのき」1月号の年頭所感は、低迷している柔道整復業界の現状打破のために、田代会長が日々苦慮していることを感じさせるものでした。そして「第二のセカンドオピニオン」という枕から始まりますが、これは会長独特のエスプリなのでしょう。

そこで、「第二のセカンドオピニオン」を私なりに考えてみました。私見なので会長の考えとは齟齬があるかもしれませんがご容赦ください。

《セカンドオピニオンの選択》

「第二のセカンドオピニオン」を「セカンドオピニオンの選択」と置き換えればわかりやすいかもしれません。

例えば、膝が痛くて医科を受診したところ「骨に異常はないので、湿布と痛み止めで様子を見てください」と医師から言われたら、患者は「ええ?!」となるでしょう。「ケガもしていないし歩けるし、骨に異常がないのは誰でもわかるよ。何が原因で痛いのか知りたくて来たのに…」と普通ならこう思うでしょう。

ここで、セカンドオピニオンの選択は

- ③他の整形外科へ行く
- ①総合病院へ行く
- ②接骨院・整骨院へ行く
- ④鍼灸・マッサージへ行く
- ⑤整体などの民間療法へ行く

ということが考えられます。おそらく、患者がセカンドオピニオンを求める場合には、医科へ行くことが多いはずで。

しかし、多くの患者が第一のセカンドオピニオンである医師を選ばずに、第二のセカンドオピニオンである柔道整復師を選んでくれるようになれば、業界にとっては大きな力になります。

最初から柔道整復師のもとを受診してくれれば一番良いのですが、患者が困ったときにセカンドオピニオンとして柔道整復師を頼ってくれることも重要です。

しかし、これは一朝一夕にはいきません。そのためには、柔道整復師の日ごろからの努力が必要でしょう。

《柔道整復師が選択されるために》

柔道整復師が選ばれるためには、第一に普段から症状に問題のある患者や不安を持っている患者にとって、最適な医科へ紹介することを厭わないことだと思います。これは、以前から田代会長も話していましたが、患者の信頼獲得には絶大な効果を発揮します。当然、紹介先は整形外科以外にもおよぶでしょう。

当院での実例ですが、背部痛を訴え来院した患者がいました。明確な誘因がないので、初診の段階で腎盂炎・尿路結石・水腎症などの「尿路疾患の関連痛」を頭の片隅に置いておきました。

翌日、腰部・側腹部に疼痛が波及するなど症状が悪化したため総合病院の泌尿器科へ紹介したところ水腎症との診断を受け、幸いに投薬のみで緩解しました。

また、こんなことがありました。右鎖骨近位端に発症した原因不明の腫脹・疼痛を訴え女性の患者が来院しました。手掌と足底を見ると水疱を伴う湿疹があり、掌蹠膿疱症性骨関節炎と判断し皮膚科へ紹介したところ、ビオチン療法で緩解しました。

こういうことの積み重ねで信頼を得られ、「体のことで問題が起きたら接・整骨院の先生に相談しよう」と患者が考えるようになります。

さらに、紹介状を書くことは柔道整復師にもう一つのメリットをもたらします。医師から返事をもらうことで、整形外科の疾患はもちろんのこと、他科の疾患に対する知識が増します。これは、日々の施術の糧となり、次の紹介に生きてきます。

《LINEの友だち登録》

前述したほかに、柔道整復師がセカンドオピニオンとして選択されやすくなるためにLINEが有効だと思います。

私のスマートフォンには約300人の患者を「友だち登録」しています。これは、患者が困ったときに、来院や電話に比べて気軽に相談できる方法です。

ほかの医療機関を受診し、納得いかないときや何科に行けばよいのか判断がつかないときなどは重宝です。

また、受傷直後などは患部の写真とともに送信できるので適切な指示をやすく、リピーター増加にも繋がるでしょう。

さらに、友だち登録している患者は、その接・整骨院

野沢整骨院(のざわてつを)と LINE
でつながろう！

LINE によるオンライン相談始めました。

内容 (すべて無料)

- ・LINE によるご相談。
- ・LINE のビデオ通話によるオンライン
- ・予備診察

(※急患を除き、LINE による要事前予約)

・お役立ち情報や健康通信を配信！

友だち追加から右の QR コード読み込んでください。

のヘビーユーザーなので知人を紹介してくれることもあります。

そして LINE の大きなメリットに、施術終了後の患者と繋がっていることが挙げられます。患者にとっては健康保険組合からの照会があったときに柔道整復師に確認(場合によっては書面の画像も)しやすく、柔道整復師にとっては、レセプトの返戻時に健康保険証の資格変更や入力ミスなどの確認がしやすいということです。

宇都宮支部 野澤哲男

ものふくらム

上野にはなぜ広小路があるの？

東 京都台東区にあり、駅名にもなっている「上野広小路」。「小路(こうじ)」とは「大路(おおじ)」の対義語で町中にある細い道をいう。つまり、「広小路」とは道幅を広げた小路ということになる。

上野広小路は、死者が10万人を超えたといわれる1657年の「明暦の大火」の後、幕閣の保科正之(3代将軍家光の異母弟)が防災対策として、上野寛永寺周辺の延焼予防のために設置したものだ。

不識院後光守

My BOX 支部リレー投稿

第239走者 宇都宮支部 二瓶 裕

マラソン大会初挑戦

昨年12月3日、人生で初めて「しらさぎマラソン大会」に挑戦しました。



きっかけは、体育館に貼ってあった1枚のポスターでした。いつもなら「マラソン大会か〜、疲れそうだなあ、よく走れるよなあ」なんて思って通り過ぎるだけだったのですが、今回は違いました。なんとなく「やってみようかな〜。苦手なことにチャレンジしてみようかな」という気持ちになり、思い切って出場を決めました。

私のスポーツ歴は、小学生は野球、中学生でバスケットボール、高校生ではハンドボール、社会人になってからはサッカーといろいろな競技をやってきましたが、個人競技は未経験だったので、それもチャレンジするきっかけとなりました。



2か月前からトレーニングを開始。最初は500mから走りはじめ、3週間後には1km、1.5kmと距離を少しずつ伸ばしていきました。

ところが、大会まで残り3週間の時にインフルエンザに感染するというアクシ

デントが発生。体調回復に時間がかかり、十分な練習ができないまま大会に出場しました。

私がエントリーした種目は3km。自分の限界まで走ろうと決めていたので、途中から目の前がフラフラしながらもゴールまで走りぬきました。スマートウォッチを見ると、心拍数190、記録は9分40秒でした。

今回のマラソン大会をとおして、苦手なことにチャレンジすることの大切さをあらためて実感した一日でした。

次回は栃木支部にバトンタッチです。

支 部 だ よ り

宇都宮支部

李下の冠、火の無い所に煙は立たず

1月28日、ホテル東日本宇都宮にて第3回宇都宮支部会ならびに新年会が行われた。

今回は、安田法律事務所（宇都宮市西大寛）の安田真道^{やすだしんどう}弁護士を招き「セクハラ・わいせつ被害者にならないために」のテーマで講演をいただいた。



講演では過去の判例を通して、セクハラ・わいせつ行為をした場合の責任とその対応などを話され、誤解されないために、施術の際には「患者への説明と同意」「2人きりにならない」「客観的記録」が大切だとした。

検察は十分なスクリーニングをして有罪確実と判断すれば起訴する。そうなれば覆すことは難しいようだ。たとえ不起訴となったとしても「一度情報が拡散すれば社会的な責任や非難は免れない。巻き込まれないように注意していただきたい」と述べた。

そして「もしもの時のために、私をお守り代わりに使ってください」と心強い言葉をいただいた。会員にはぜひ頼りにしてほしい。

通信員 手塚邦雄

塩谷支部

療養費プラス改定で「福は内」!?

2月3日、さくら市「志生亭」にて第2回塩谷支部会が開催された。

今回は田代会長にお越しいただいて、4月より運用開始予定となっている、施術所等におけるオンライン資格確認（資格確認限定型）を中心にいろいろな話をいただいた。1月末に総合ポータルサイトが開設したので、まずはユーザー登録をしてほしいことと、4月まであまり時間はないが機器購入の補助金などは後からでも申請できるので、慌てずにしっかり情報を確認して対応してほしいとのことだった。また、今年は療養費改定があり現状折衝中であるが、医科は0.52%のプラス改定のた

め、おそらく柔整は+0.26%の改定になると思われる。これは直近10年では一番高い改定率との説明があり、さらに電療・電法料など売上に直結する項目のプラス改定を視野に折衝していくと力強く語った。

申請書では長期多部位は周知のことであるが、現在問題視されるのは請求の全てがほぼ2部位しかないものや、長期・通減が全くない請求などが作為的とみなされるため、あるがまま、施術したとおりの請求を心がけること、つまらない返戻として負傷部位と負傷原因が一致しないものや印字のズレなどがあり、見直しを徹底してほしいことなど、多岐にわたり細かく現状を説明していただいた。



大下支部長からは、永らく行われていなかった支部勉強会を開催したいとの話もあり、何ができるかみんなで考えていきたいと思った。

通信員 加藤芳昭

那須支部

時流に乗って

1月27日、榊原会館にて令和5年度那須支部会が開催された。

開会に先立ち、協同組合賛助会員の北関東総合警備保障株式会社の阿部未沙希様、株式会社ウェアミスの池田宏明様から会社紹介があり、防犯とフェムテックに対する認識を深められた。

開会后、大橋支部長は支部会員が少しずつ増える中、支部会の出席者も増えるように今後も講師の選出と議題のテーマを考えていきたいと述べた。

田代会長からはオンライン資格確認の運用の仕方と準備について、講習会では鈴木保険部長から保険取り扱いの注意点として、レセプトの返戻と傾向について事例を交えて詳しく話していただいた。それぞれ現状にも触れた内容だったため対策を講じやすくなり、出席の意義を強く感じた。



変わりゆく時流は確実に柔整師にも訪れ、変化や変容が求められる。柔整師の源流を継承しつつ社会のニーズに合わせて柔軟に対応していきたい。

通信員 古内秀直

同門会だより

八千代会

「初心忘るべからず」 の言葉を胸に

1月20日、令和6年「八千代会」総会がホテルニューイタヤで開催されました。

八千代会は、鈴木忠夫保険部長の父、鈴木義雄先生（鈴木整骨院＝宇都宮市八千代）の門下生で構成される同門会（正会員32人）です。会員の年齢層は30～70代と幅広く、北海道や東北、関東一円で活躍されています。

今回は16人が参加し、コロナ禍前まで行っていた勉強会や研修会の再開などの事業計画が伝達されました。

また、鈴木忠夫保険部長による保険請求の課題およびオンライン資格確認の説明のほか、マイナポータルの使い方の実演などの研修も行われました。



総会後に開かれた新年会では、石川隆会員（小山）、真中進茨城県柔道整復師会前副会長から、共にあいさつの中で「人間力向上、知識と技術の継承の重要性」が述べられました。

年齢の枠を超えての多種多様な話に感化され、若き日の向上心が戻るとともに、師の「初心忘るべからず」の言葉が思い出され、明日への希望が湧いてくる一日となりました。

宇都宮支部 手塚邦雄

還暦ほねつぎの独り言

昨年の日本ネーミング大賞を受賞したのが、鹿児島県の「さつま無双」という会社の芋焼酎「いまかの」。キャッチコピーは「朝まで呑みたい、いまかの」。

「いまかの」があれば、当然「もとかの」もある。こちらは「もう一度呑みたい、もとかの」。その他にも「一度は呑みたい、となりのおくさん」「一緒に呑みたい、となりのハンサム」「優雅に呑みたい、となりのマダム」「粋に呑みたい、となりのダンディー」と一度聞いたら忘れられないしゃれたネーミングばかり。



極め付きの呑み方は「いまかの」と「もとかの」を1対1で割って呑む「しゅらば」だそうだ。

おふざけの好きな、いい加減な会社かと思いきや、「鹿児島の焼酎を全国へ広めてほしい」という県民の要望を受けて、鹿児島県酒造協同組合の傘下業者が立ち上がり、昭和41年に創設されたのが「さつま無双株式会社」だった。

「鹿児島にふたつとない焼酎」という意味の「無双」の名前は、鹿児島を代表するにふさわしいと県民からの一般公募で決められ、看板商品「さつま無双の赤ラベル」は、戊辰戦争で官軍が掲げていた「錦の御旗」をイメージし、「鹿児島の焼酎」をアピールしている。

世界で「地理的表示（GI）」が認められている酒はボルドーワイン・コニャックブランデー・スコッチウイスキー・バーボンウイスキーなどがあるが、TRIPS協定に基づき「薩摩焼酎」も認定されている。（日本の焼酎で認定を受けているのは壱岐焼酎、球磨焼酎、薩摩焼酎、琉球泡盛の4つ）

認知度が低迷する柔整業界も一致団結して、世間にアピールする取り組みを願いたいものだ。その前に、薩摩焼酎のように中身が充実していなければならない話だが。

昨年開催された「柔道整復師・接骨院・整骨院フェスタ OKINAWA2023」を参考に日整と各都道府県柔整師会も重い腰を上げる時が来ている。

三代目大木屋五平

2024 (令和6年)

行事予定

※とちのきクリニック
の受付は9:30~
11:30です

3月

- 3日(日) 9:30 関東学術大会神奈川大会 [川崎市スポーツ・文化総合センター カルツワカワさき]
- 8日(金) 療養費支給申請書必着日
- 10日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・岡本・直江・小林
- 12日(火) 20:00 とちのき4月号編集会議 小森・三上・木下
- 14日(木) 20:00 理事会(支部長参加)
- 15日(金) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 19日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:00 とちのき校正会議 小森・木下・藤田
- 22日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
- 24日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・高野・野澤・下野・大木
- 26日(火) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・松山

4月

- 7日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・館・鈴木勝・小林
- 8日(月) 療養費支給申請書必着日
- 12日(金) 20:00 理事会(支部長参加)
- 15日(月) 20:00 とちのき5月号編集会議 小森・藤田・古内
- 16日(火) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 19日(金) 20:00 とちのき校正会議 小森・古内・木下
- 21日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・岡本・瀬端・大木
- 23日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・館
- 24日(水) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 26日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

川柳

塩谷支部 船橋 仁和

いつからか妻に合わせている歩調
あの頃はよかった愛が溢れてた
失敗を重ねて打たれ強くなり

information

お知らせ

会員数

令和6年2月1日現在
 会員数 **368名**
 研修柔道整復師 **8名**
 施術所数 **350院**



会員の異動状況報告

- ・那柔整86→宇柔整252 鈴木 滉平(研)
古内接骨院鍼灸治療院→鈴木はりきゅう整骨院
〒321-0628 那須烏山市金井2-23-19
☎0287-83-0256
〒321-0169 宇都宮市八千代2-2-26
☎028-658-1161 令和6年1月4日 異動
- ・芳柔整28 永島 和弘 永島整骨院
〒321-4361 真岡市並木町3-16-11
☎0285-82-6452 令和6年1月31日 退会
- ・鹿柔整45 田中 徹哉 鬼怒川整骨院
【新住所】
〒321-2522 日光市鬼怒川温泉大原1441-5
☎0288-76-2511 令和6年1月29日 住所移転

オンライン資格確認が開始されます



「オンライン資格確認」とは、施術所の端末(パソコン・タブレットに接続した市販の汎用カードリーダーやスマートフォンまたはタブレット)を用いて患者のマイナンバーカードを読み取り、患者の保険資格情報を確認します。令和6年12月2日以降、義務化されます。導入に必要なカードリーダー・スマートフォン・タブレットの購入には4.1万円を上限に実費補助されます。

まずは「施術所向け総合ポータルサイト」での新規ユーザー登録が必要となりますので、施術所内のネット環境を整備するようお願いいたします。

編集後記



小学校低学年の息子が、学校で縄跳びの検定があるというので、一緒に練習してみました。ビール腹を何度も揺らし頑張りましたが、二重跳びは一回がやっとです。これでは息子に追い抜かれるのも時間の問題。

調べてみると、縄跳びはランニングよりも消費カロリーが高く、ダイエットに最適だそうです。「毎日続けていこう」とビール片手に誓いました。

みかすけ